



医薬化粧品労働組合  
ネットワーク

ツムラ労働組合 中央

執行副委員長

木村 光志

皆さんは労働界や労働運動のことをどれくらいご存知ですか？

私は、昨年10月に医薬品の営業担当者（MR＝medical representative）から専

従となりました。それまでは非専従ということもあり、自労組内の活動が中心で上部団体や産別の知識は殆どありませんでした。

弊労組では、専従になると自動的（勝手に）ユニオンカレッジに申し込まれ、スケジュ

分析、労組の事例紹介など、実に幅広い内容が盛り込まれていました。

まずは労働運動の歴史から始まり、これまでの組織の成り立ちや考え方が現在の労働組合を形作っていることを知りました。

交渉を主軸とした活動から人材の成長が会社の成長に、そして社会の成長に繋げられる活動が求められるのだと強く感じました。

また、経営分析などのワークは具体的な事例を盛り込みながら、財務諸表の見方をはじめ

## 全労生ユニオンカレッジを受講して

ール化され、右も左もわからないまま専従8日目には講座に参加させられました。昨年度は10月から12月の9回11講座が開催され、戦後から現在までの労働運動の歴史や取り組み、法律の知識、経営

弊労組は上部団体に加盟したのも2005年と歴史が浅く、「社会的な運動」というよりも「労働条件交渉の代行機関」的な捉えられ方がされています。成熟した日本において労働組合は、賃金

め、経営者の視点で付加価値や労働生産性を考えるなど、会社と話し合うために必要な知識を初心者でも分かりやすく、楽しみながら勉強することが出来ました。

月が経とうとしていますが、講義を受けた当初はピンとこなかった内容があったのも事実ですが、実際に労働運動にかかわるようになり、ユニオンカレッジで学んだ基本知識や考え方がとても役立っています。

今となっては全講義のスケジュールを勝手に組み込まれたことにとっても感謝しています。講座終了後には懇親の機会もあり、参加者との素敵なご縁が生まれることも楽しみのひとつです。是非、楽しみながら学べるユニオンカレッジに奮ってご参加下さい。